

日野市交通バリアフリー 特定事業計画

平成 18 年 7 月

日 野 市
日野市交通アクセスを考える会
国土交通省相武国道事務所
東京都南多摩西部建設事務所
東日本旅客鉄道株式会社
京王電鉄株式会社
京王電鉄バス株式会社
西東京バス株式会社
東京都公安委員会

【目 次】

1 . 特定事業計画策定にあたって	01
1) 特定事業計画策定の趣旨	
2) 策定体制	
2 . 重点整備地区の概要	02
1) 重点整備地区の概要	
2) 移動経路の方針	
3) 移動経路の種別	
3 . 道路特定事業計画	07
1) 日野駅周辺地区	
2) 豊田駅周辺地区	
3) 高幡不動駅周辺地区	
4) 百草園駅周辺地区	
4 . 公共交通特定事業計画	63
1) 鉄道・車両のバリアフリー化	
(1) J R 日野駅	
(2) J R 豊田駅	
(3) 京王高幡不動駅	
(4) 京王百草園駅	
2) バス停・車両のバリアフリー化	
(1) 京王電鉄バス株式会社	
(2) 西東京バス株式会社	
5 . 交通安全特定事業計画	69
1) 日野駅周辺地区	
2) 豊田駅周辺地区	
3) 高幡不動駅周辺地区	
6 . その他の事業計画	73
1) その他の事業計画の考え方と事業計画	

1. 特定事業計画策定にあたって

1) 特定事業計画策定の趣旨

日野市では、平成 12 年に通称「交通バリアフリー法」が施行されたのを受けて、平成 17 年に「日野市交通バリアフリー基本構想」を策定しました。

この構想は、日野市の交通バリアフリーに関する目標や方針を定めるとともに、日野駅周辺地区、豊田駅周辺地区、高幡不動駅周辺地区、百草園駅周辺地区を重点整備地区として、平成 22 年を目標に地区内のバリアフリー化を示したものです。

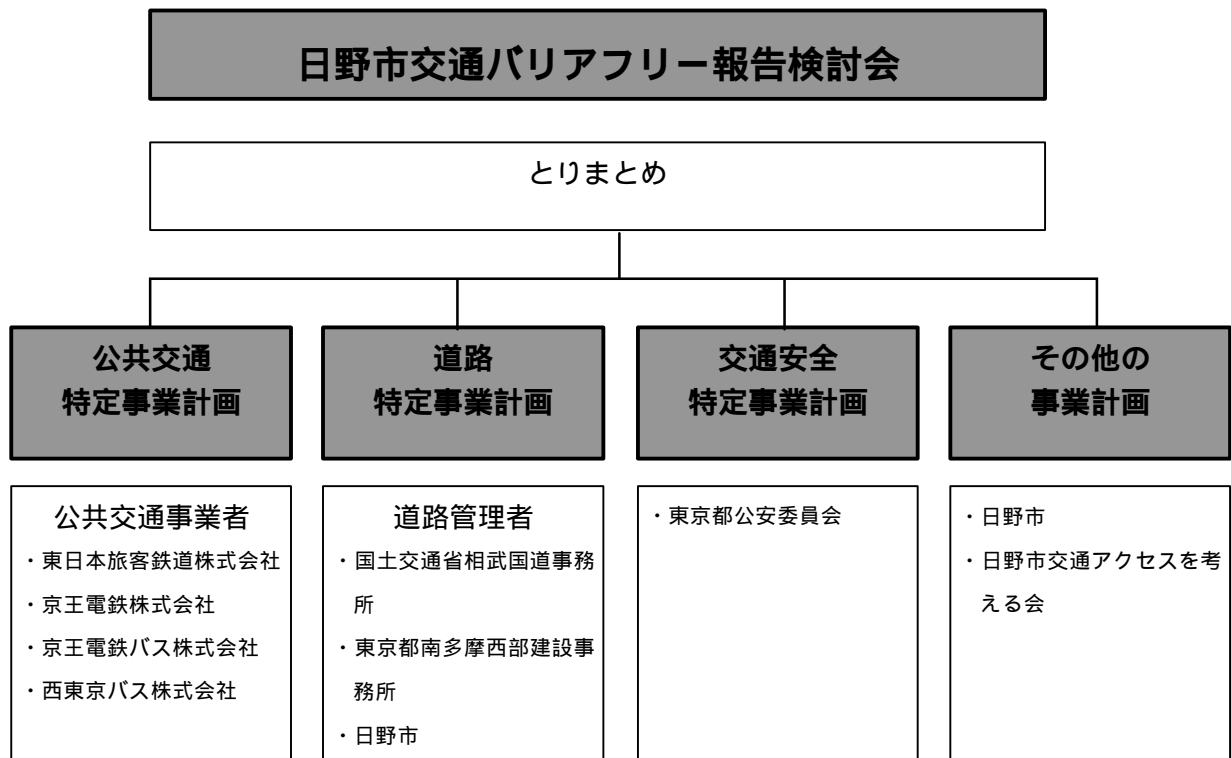
この基本構想に則した具体的な事業を、計画的に実施するため、平成 18 年 2 月に「日野市交通バリアフリー報告検討会」を設置し、公共交通事業者（鉄道・バス事業者）、道路管理者（国道・都道・市道管理者）、公安委員会、各種市民代表による協議・調整を行い「特定事業計画」を策定しました。

今後は、この計画に基づき各特定事業計画を進めていくとともに、事業の進捗状況を踏まえながら、計画の見直しを行い、フォローアップを実施していくこととします。

2) 策定体制

交通バリアフリー法において、特定事業計画を策定する際に、各事業者は、市町村及び関係する事業者の意見を聴いたうえで、特定事業計画を定めなくてはなりません。

各事業者の連携をはかり、効率的に計画策定を進めるため、「日野市交通バリアフリー報告検討会」を開催し、特定事業計画を策定しました。



2. 重点整備地区の概要

1) 重点整備地区の概要

交通バリアフリー法では、一日あたりの平均的な利用者の人数が5,000人以上の旅客施設とその周辺地区を対象として重点整備地区を定めることとなっています。

日野市では、乗降客数、上位計画での位置づけ、駅周辺の福祉関連施設や病院の立地状況、駅舎と駅周辺地域のバリアフリーの整備状況、駅周辺の高齢化率、バスの運行本数などの交通の利便状況、駅利用者アンケート調査による市民ニーズを踏まえて、重点整備地区の抽出を行いました。

その結果、日野駅周辺地区、豊田駅周辺地区、高幡不動駅周辺地区、百草園周辺地区の4地区を重点整備地区として位置づけました。

< 日野駅周辺地区の概要 >

乗降客数 (人/日)	社会的弱者が利用する施設(福祉・医療施設)	日野駅半径500m圏内の人口			その他主要施設		バスの一日あたりの本数 (本)
		総人口(人)	65歳以上(人)	高齢者率(%)	行政関連施設	観光スポット	
51,701	生活保健センター	7,893	1,276	16.20	日野市役所	日野宿本陣	396
	中央福祉センター				日野図書館		

< 豊田駅周辺地区の概要 >

乗降客数 (人/日)	社会的弱者が利用する施設(福祉・医療施設)	豊田駅半径500m圏内の人口			その他主要施設		バスの一日あたりの本数 (本)
		総人口(人)	65歳以上(人)	高齢者率(%)	行政関連施設	観光スポット	
64,147	光の家(視覚)	6,720	1,162	17.30	中央図書館	/	301
	市立病院				ふれあい館		

< 高幡不動駅周辺地区の概要 >

乗降客数 (人/日)	社会的弱者が利用する施設(福祉・医療施設)	高幡不動駅半径500m圏内の人口			その他主要施設		バスの一日あたりの本数 (本)
		総人口(人)	65歳以上(人)	高齢者率(%)	行政関連施設	観光スポット	
50,124	福祉支援センター	3,956	588	14.90	七生支所	高幡不動尊	319
	老人ホーム浅川苑				高幡図書館		

< 百草園駅周辺地区の概要 >

乗降客数 (人/日)	社会的弱者が利用する施設(福祉・医療施設)	百草園駅半径500m圏内の人口			その他主要施設		バスの一日あたりの本数 (本)
		総人口(人)	65歳以上(人)	高齢者率(%)	行政関連施設	観光スポット	
8,085	日野療護園	4,539	667	14.70	百草図書館	百草園	62

(重点整備地区を抽出した時点(平成16年6月)でのデータ)

2) 移動経路の方針

日野市では、高齢者や障害者の円滑な移動を実現するため、特定旅客施設から主要な公共施設までを結ぶ経路を「移動経路」として重点的に整備していきます。

この移動経路は、日野市の交通バリアフリーの基本的な考え方である「ユニバーサルデザインによるまちづくり」に基づき設定しており、特定旅客施設から施設を結ぶ主要な経路の他に、選択性や回遊性を高めるための経路についても指定しています。

また、この移動経路は、道路法にもとづく道路だけでなく、施設内の通路など、実際に利用が想定されるものを指定しています。

なお、各道路管理者や施設管理者は、日野市交通バリアフリー基本構想に基づき事業計画を作成し、移動経路におけるバリアフリー化を推進していきます。

3) 移動経路の種別

日野市交通バリアフリー基本構想では、重点整備地区内におけるバリアフリー化が必要な移動経路を「特定経路・準特定経路・移動ネットワーク経路」の3つに区分しています。

特定経路は、重点地区内において、優先的に整備を行う移動経路で、平成 22 年までの整備を目指します。

準特定経路は、バリアフリー化を実施するものの、日野市のまちづくりの進捗状況や地形上の制約から随時可能な限り整備を行っていく移動経路です。

移動ネットワーク経路は、特定経路・準特定経路以外に、移動の選択性を広げ、地区内の回遊性を高める移動経路で、随時可能な限りの整備を行っていくものです。

なお、本事業計画では、平成 22 年までに事業実施が可能な内容について事業計画について定めています。

表：経路の種別

	機能	目標年次	整備
特定経路	特定旅客施設から概ね500mの徒歩移動を前提として、高齢者や障害者などが利用する主要施設と特定旅客施設を結ぶ経路	平成 22 年	移動円滑化基準に準ずる
準特定経路			可能な限り 移動円滑化基準に準ずる
移動ネットワーク経路	特定経路・準特定経路以外に移動の選択性を広げる経路 重点整備地区の回遊性を高める経路	概ね平成 22 年～27 年 各種まちづくり事業の進捗に合わせて整備する	移動円滑化基準に準ずる
			可能な限り 移動円滑化基準に準ずる